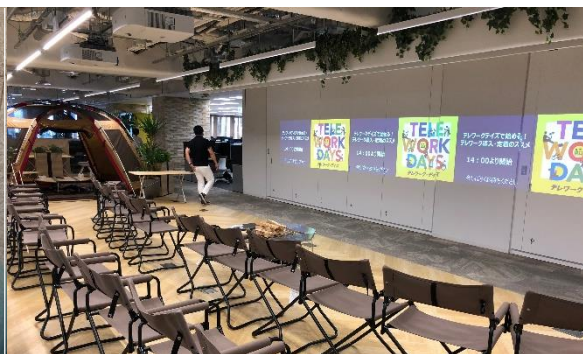
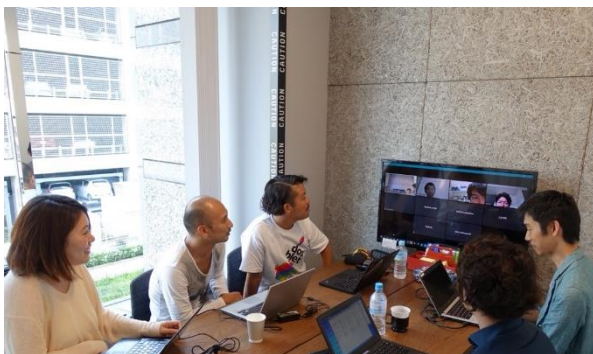


テレワーク・デイズ実施風景



週次の部門長会議を、サテライトオフィス WORKSTYLING（三井不動産）と在宅勤務者とでリモート開催。

7月24日、25日は、テレワークを実践しているPhone Appli社オフィスでテレワーク促進イベントを共同開催。

ワークスイッチ事業部（200名）では、社員全員がテレワークを一斉実施。豊洲オフィスはほぼ空席に。

育児の事情がある社員は、テレワークを活用し、夏休み中の子供の見送りが可能に。

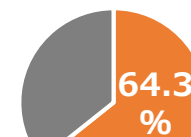
| | |
|-------|---|
| 本社所在地 | 東京都江東区豊洲 3-2-20 豊洲フロント7階 |
| 従業員人数 | 3,145名（2018年3月1日時点） ※内、豊洲本社勤務者は800名程度 |
| 実施人数 | 参加総数：170／350人（本社勤務800名中） ※7月24日の実施人数／参加総数 |
| 実施エリア | 豊洲 |
| 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 在宅勤務 <input checked="" type="checkbox"/> サテライトオフィス勤務 <input checked="" type="checkbox"/> モバイルワーク勤務 |
| 実施概要 | コンサルティング部門（ワークスイッチ事業部）は所属社員全員が実施（計200名）。その他、本社管理部門、システム開発部門から参加者を募り、計350名が参加。7月24日（コア日）は、170名が一斉に実施。期間中は、毎日100名程度がテレワークを積極的に実施し、今後の拡大に向けた課題発見や意向醸成ができた。 |

実施結果

今回のテレワーク・デイズは、台風等の災害や東京オリンピック時の通勤不可期間のBCP対策訓練を主目的として実施した。今回のテレワーク実施者からはテレワーク勤務継続意向が98%となった。また、残業削減効果やコミュニケーションの変化等の副次的効果も確認できた。

【副次的効果①】 残業削減

Q)通常勤務時を100%とした場合、テレワーク勤務時の残業時間は何%ですか？というアンケートの結果、3割程度の残業削減効果が確認できた。



テレワーク時の残業割合

【副次的効果②】 コミュニケーション変化の確認

通常勤務時より、チャット・SNSツールの活用促進につながった。

Q) ふだん（テレワーク以外）の業務で行っているコミュニケーション手段を教えてください。

| | | |
|-------|----|----------|
| 通常勤務時 | 1位 | 対面会議 |
| | 2位 | チャット・SNS |
| | 3位 | メール |
| | 4位 | 電話 |
| | 5位 | リモート会議 |

| | | |
|----------|----|----------|
| テレワーク勤務時 | 1位 | チャット・SNS |
| | 2位 | メール |
| | 3位 | 対面会議 |
| | 4位 | 電話 |
| | 5位 | リモート会議 |